

生涯学習センター及び文化情報センター 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】生涯学習センター・文化情報センター

【指定管理者名】株式会社アステム

【評価対象年度】令和6年度

【施設所管課名】産業・文化部 生涯学習課

業務内容についての評価

利用状況に合わせた人員配置や指導者の配置を行っており、協定書・仕様書に基づく施設運営を適切に行っています。

年間利用者数は54,560人(生涯学習センター47,967人 文化情報センター6,593人)で前年度と比較すると12.3%の増加になりました。

総稼働率は生涯学習センターが61.9%(前年度比1.9%増)、文化情報センターが49.4%(前年度比2.9%増)になりました。

利用者増加につながった要因として、利用者のニーズを捉えた多種多様な生涯学習事業を実施するのみならず、幅広い媒体を活用した広報活動も要因の一つであると考えられます。事業チラシの配布だけではなく、ホームページやSNSで情報を分かりやすく発信しています。特にInstagramでの発信に注力し、フォロワー数を増やすことで効果的な方法で施設や事業内容について周知を行っていると評価します。引き続き、SNSなどを積極的に活用した利用者への情報配信をお願い致します。

令和6年度は生涯学習センターで49件、文化情報センターで20件の合計69件の事業を実施。

昨年度も好評だった「アクロス歴史文化カレッジ」は名称を「アクロス歴史アカデミー／文化アカデミー」と改めて、参加者がより深い知識を得られるように歴史アカデミー、文化アカデミーに分けて開催。それぞれ4件ずつ講義を実施し、利用者からも好評をいただくことができました。

「ハンドフェス&癒しフェア DAITO」は、昨年度に引き続き市内の企業や団体にも出展を依頼。新たな取り組みとして、サーティホール、歴史とスポーツふれあいセンターとの3館連携事業の一環として、河内木綿を使ったワークショップを開催致しました。

文化情報センター恒例の「アマチュアミュージシャンライブフェス」は出演応募定員20組のところ28組の応募があり、新規の参加団体も増えつつあります。就労継続支援事業所から観覧についても問い合わせがあるなど、出演者と来場者がともに楽しめる事業になってきております。

他にも「めざそう!10歳若返り大東元気でまっせ体操体験会」や「-DICでeスポーツ-60歳からはじめる太鼓の達人!」など多種多様な事業を実施致しました。多様化するニーズに対して、様々な分野や形態での事業企画を実施することで、利用者それぞれにあった生涯学習の場を提供いただいたことを評価します。

施設の維持管理に関しては、日々修繕を行いつつ適正な管理を行っており、市と協議が必要な大規模な修繕と指定管理者で対応できる修繕の仕分けを行い、対応できています。

また、市が実施した生涯学習センター館内照明のLED化、生涯学習センターの外壁に設置されてい

た LED 表示装置の撤去、令和 7 年 3 月より公共施設予約システムの導入等にも適切に対応いただきました。今後とも市と連携し、利用者のよりよい環境づくりに努めてください。

利用者満足度について評価

アンケートの回答総数は 741 件で回答者数は昨年度よりも 235 人増加しました。施設利用者の満足度は「満足」「やや満足」を合わせると 78.8%でした。

また、昨年は数%あった「やや不満」という回答に関して、今年度は 0%であったことから利用者の満足度が年々高いものになっていることが伺えます。これは、職員研修を定期的に行い、スタッフ一人一人のスキルが高まることで、質の高い対応ができているからであると高く評価しています。

今後もスタッフのスキルアップに努めて、利用者に寄り添った質の高い対応を維持できるように期待しています。

収支状況について評価

収入状況は、88,931 千円で年度計画よりも微増。特に施設利用料は生涯学習センター：7,245 千円、文化情報センター：1,006 千円で両施設とも前年度よりも増収。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていなかった令和元年度と同等程度まで施設利用料収入を回復させることができました。

今年度は 109 団体の新規登録があり、昨年度より 21 団体も多く登録がありました。新規団体数の増加は収入増加に結びつく大きな要因であるため、新規利用者の獲得に向けた日々の取り組みを高く評価します。

支出状況は、88,045 千円で年度計画よりも微減。支出を抑えるため、過剰なエネルギー消費とならないよう、節電対策を行った結果、光熱費は想定よりも抑えることができました。事業運営も余分な費用を抑えるように工夫しながら計画実施することで支出を抑制することができました。

令和 6 年度は収支合計 886 千円の黒字となり安定的な施設運営ができていると評価します。

今後も、経費節減に努めるとともに、利用者数と稼働率アップに向けて運営に取り組んでいただけることを期待します。

総合評価

生涯学習センター及び文化情報センターの業務目的が、市民の生涯学習および文化活動の推進であるということを十分に理解し、適切な施設運営がなされていると評価します。

ホームページや SNS を活用した広報活動が利用者増加に効果的であると考えられます。様々な媒体を活用し、ニーズの高い利用者へ適切な情報を届けられるように今後も積極的な広報活動にて利用者数の増加、新規申し込みの獲得をお願い致します。

様々な事業を計画、実施することで施設利用料をコロナ過前の水準まで回復させることができました。利用者をあきさせることなく、目新しさを提供できるスタッフ一人一人の事業企画立案能力や様々なニーズをもった市民の期待に応えるための対応力の高さが利用者の満足度を高め、収入増加に繋がったと考えられます。

今後も市民のニーズに沿った事業展開と利用者に寄り添ったきめ細かな丁寧な対応で、多くの市民に対して学びの場を提供いただけることを期待しています。